

# 水産庁 業務紹介

Japan Fisheries Agency



# 農林水産省（水産庁）の掲げるビジョン

わたしたち 農林水産省は、  
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を  
**未来の子どもたちに継承していくことを使命**として、  
常に国民の期待を正面から受けとめ  
**時代の変化を見通して政策を提案し、**  
その実現に向けて**全力で行動**します。

# 本日の内容

- ① 水産庁のミッション
- ② 業務を通じた成長・働き方
- ③ キャリアパス・公務員試験

ビジョンの達成には、  
ミッションの着実な遂行と、  
そこで働く職員一人一人の成長が不可欠！



# 本日の内容【1/3】

- ① **水産庁のミッション**
- ② 業務を通じた成長・働き方
- ③ キャリアパス・公務員試験

- ❖ 水産庁のミッションとは？
- ❖ 農林水産省・水産庁はどのような組織？
- ❖ 水産業が抱える課題は？
- ❖ 国家公務員の役割とは？



# 水産庁のミッション

水産のプロフェッショナルとして、  
水産の幅広いフィールドを舞台に、  
持続的な水産業の実現を目指します。

mission

Fisheries Agency

## Mission 1

水産業の発展  
漁業者の福祉の増進



## Mission 2

水産物の  
安定供給の確保

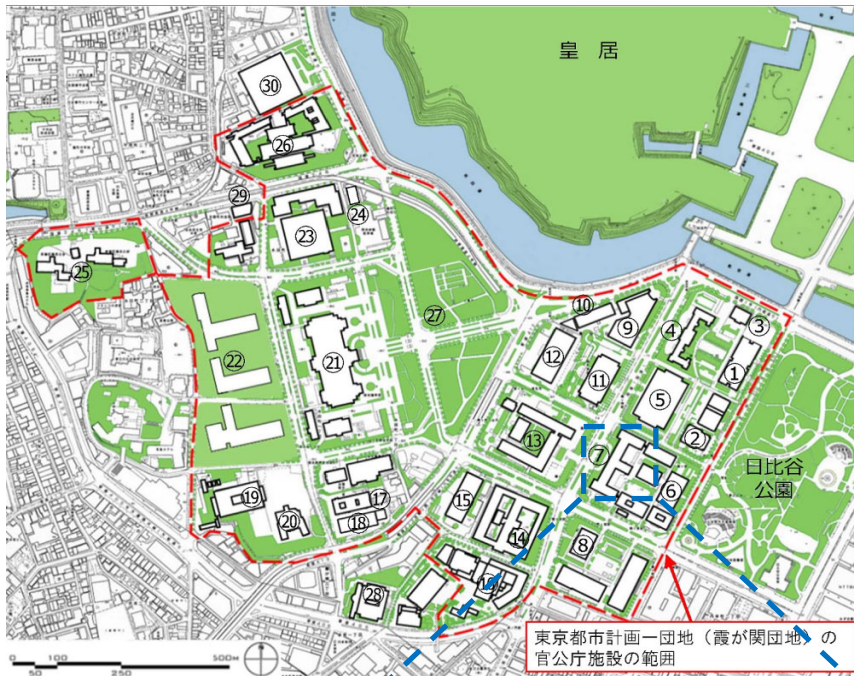


## Mission 3

水産資源の  
適切な保存及び管理



# 農林水産省（本省）の組織



## 農林水産省 （本省）

- ❖ 霞ヶ関駅徒歩1分
- ❖ 地上8階建  
（水産庁は最上階）
- ❖ 延床面積約8万m<sup>2</sup>
- ❖ コンビニ・食堂有



大臣官房

新事業・食品産業部

統計部

検査・監察部

消費・安全局

輸出・国際局

農産局

畜産局

経営局

農村振興局

農林水産技術会議事務局

林野庁

水産庁

- ❖ 農林水産省の定員は2万人弱
- ❖ 本省に7つの内局と3つの外局等を設置
- ❖ 全国に地方農政局や検疫所等を設置
- ❖ 「食」と「環境」を核として、フィールドは地方から世界まで幅広い



水産庁  
JAPAN FISHERIES AGENCY

# 水産庁の組織・沿革

水産庁  
(本庁：農林水産省最上階)

水産庁長官

水産庁次長

- ❖ 水産庁の定員は約1000名
- ❖ 本庁に4つの部、30以上の課室を設置
- ❖ 全国6カ所に漁業調整事務所を設置

漁政部



【Keywords】水産改革、新規就業者対策、水産流通適正化法、積立ぶらす...etc.

資源管理部



【Keywords】新たな資源管理、TAC、IQ、漁業権、遊漁、漁業の許認可、商業捕鯨、国際交渉、外国漁船対策...etc.

増殖推進部



【Keywords】漁船の省エネ化、原発事故からの復興、資源評価、CITES、養殖業の成長産業化、ウナギの資源管理、栽培漁業...etc.

漁港漁場整備部



【Keywords】公共事業、施設整備、魚礁整備、海業、磯焼け対策、浜プラン...etc.

明治14年（1881年）農商務省（農務局）設置

大正14年（1925年）農林省（水産局）、商工省に分割

昭和18年（1943年）商工省の事務を一部承継し、農商省（水産局）設置

昭和23年（1948年）水産局を水産庁（外局）に改組

平成13年（2001年）水産庁研究所が独立行政法人（現 水産研究・教育機構）として分離

水産庁は農林水産省の外局として現在に至る

漁業調整事務所（6ヶ所）

北海道（札幌市）

仙台（仙台市）

新潟（新潟市）

境港（境港市）

瀬戸内海（神戸市）

九州（福岡市）



水産庁  
JAPAN FISHERIES AGENCY

## 水産業が抱える課題

# Q. あなたが行政官なら、 水産業をどう変えたいですか？

例えば、水産業は次のような課題を抱えています

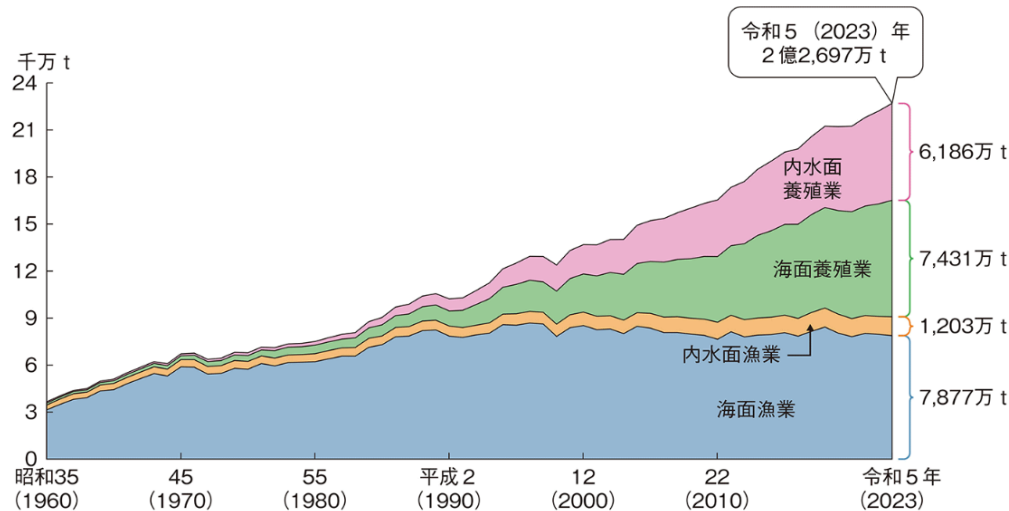
- ❖ 世界の水産物の需要の拡大
- ❖ 外国漁船等の違法操業
- ❖ 気候変動の影響
- ❖ 労働人口の減少
- ❖ 水産業のイノベーションの必要性

# ～世界の水産物の需要の拡大～ <水産行政課題>

## 世界の水産物のタンパク源としての需要は増え続けている

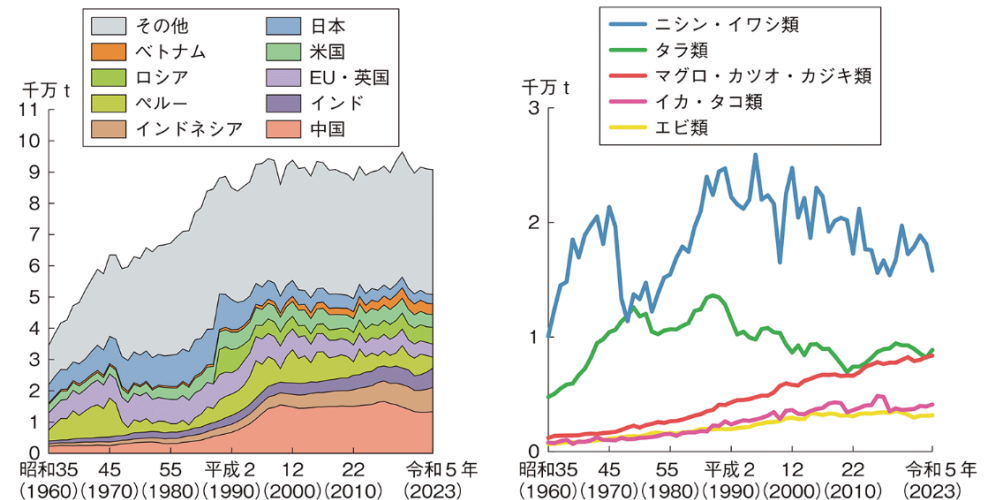
- ❖ 世界の水産物の生産は、漁業は頭打ちの一方、養殖業は拡大し続けている
- ❖ 海に居る魚は有限の資源であり、国内・国際的な資源管理の重要性が増している

### 【世界の漁業・養殖業生産量の推移】



資料: FAO「Fishstat (Global capture production、Global aquaculture production)」(日本以外) 及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本) に基づき水産庁で作成

### 【世界の漁業の国別及び魚種別漁獲量の推移】



資料: FAO「Fishstat (Global capture production)」(日本以外) 及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本) に基づき水産庁で作成

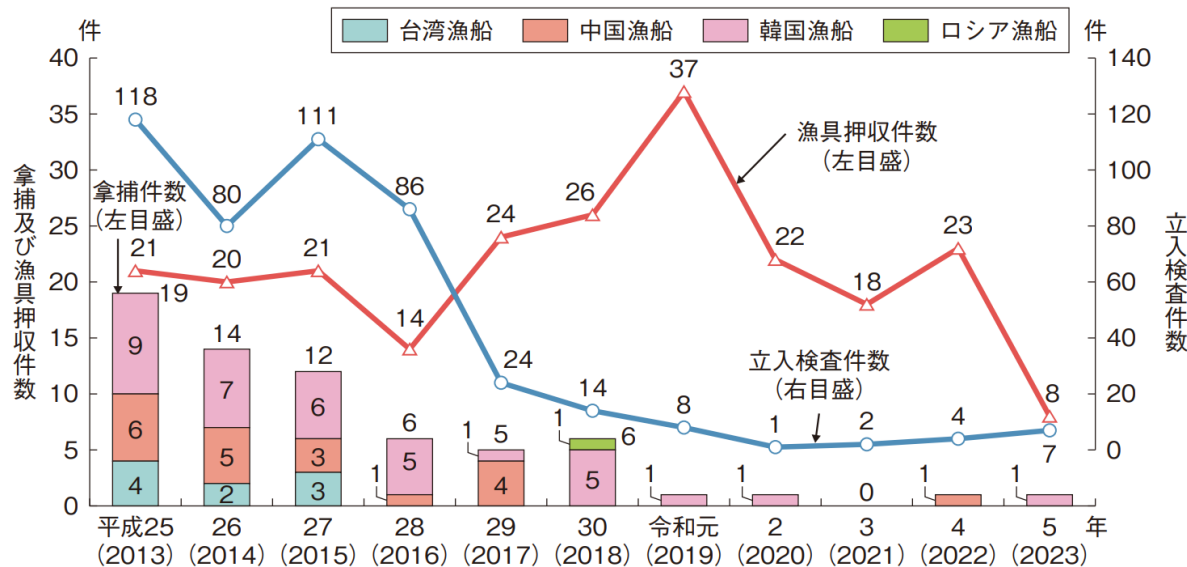
# ～外国漁船等の違法操業～＜水産行政課題＞

## 世界有数の漁場である日本近海でも違法な操業が行われている

- ❖ IUU漁業※と呼ばれる違法操業が世界的な問題となっている
- ❖ 水産庁は官船9隻、用船37隻、航空機4機を用いて水産資源を守っている

※各国の国内法や国際的な操業ルールに従わない無秩序な漁業活動

### 【水産庁による外国漁船等の拿捕・立入検査等の推移】



資料：水産庁調べ

注：公海における乗船検査を含まない。



新光丸 (2,071t)



白竜丸 (1,598t)



白龍丸 (913t)



白龍丸 (499t)



白龍丸 (149t)



取神航空機 (ジェット機)

水産庁  
JAPAN FISHERIES AGENCY

# ～気候変動の影響～ <水産行政課題>

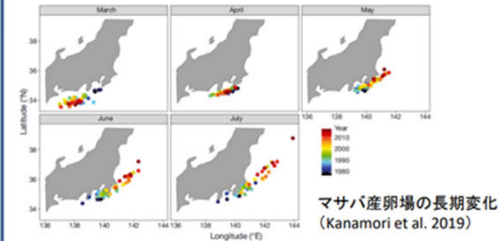
## 気候変動により海の環境が大きく変わってきている

- ❖ 水温が上がるほど地域の魚種の入替わりや漁獲の減少が起こり得る
- ❖ 水温は「海の森」としての役割が期待されている藻場にも影響がある

### 【海面漁業への影響】

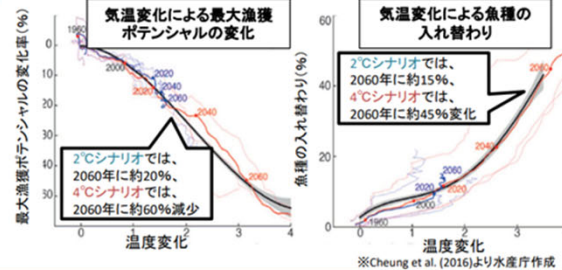
#### <現状>

- マサバ産卵場の北上、産卵終了時期の延長
- プリ、サワラ漁獲量の増加
- シロザケの回帰率が低下
- スルメイカの発生・生残が悪化
- サンマ漁場と産卵場の沖合化
- スケトウダラ加入量の減少
- 上記変化で加工業や流通業に影響が出ている地域がある



#### <将来予測>

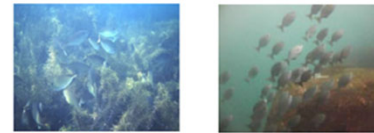
- 世界全体の漁獲可能性が減少
- 日本周辺海域では、以下の予測が報告されている
  - ・ さけ・ます類の分布域の減少
  - ・ サンマ漁場が沖合化し、より公海域に形成
  - ・ スルメイカは分布密度の低い海域が拡大し、日本海で小型化等
  - ・ マイワシ成魚の分布範囲や稚仔魚生残可能海域の北方への移動
  - ・ プリの分布域の北方への移動、越冬域の変化



### 【藻場への影響】

#### <現状>

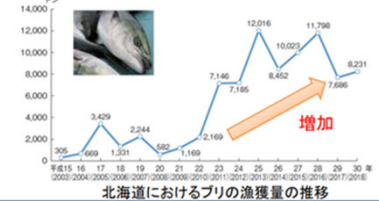
- カジメ科藻類の分布南限の北上
- アイゴなどの植食性魚類の摂食行動の活発化、分布域の拡大
- 多くの海洋生物の分布域が変化



アイゴとホイスミの群れ

#### <将来予測>

- 海水温上昇による藻場の種構成や現存量が変化し、磯根資源への影響
- 多くの漁獲対象種の分布域が北上。

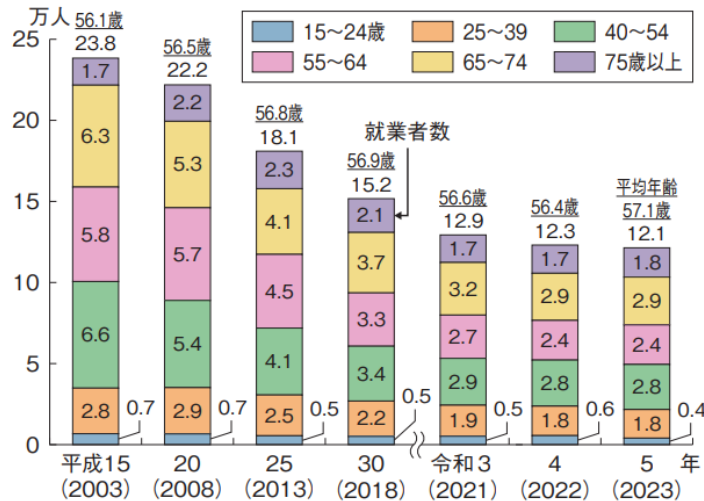
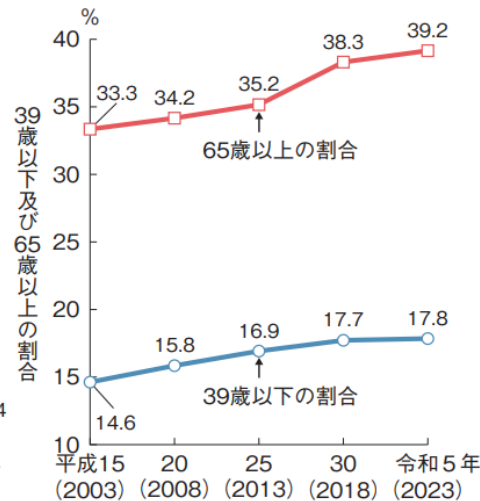


# ～労働人口の減少～＜水産行政課題＞

## 美味しい魚の生産や漁村地域を支える担い手が減っている

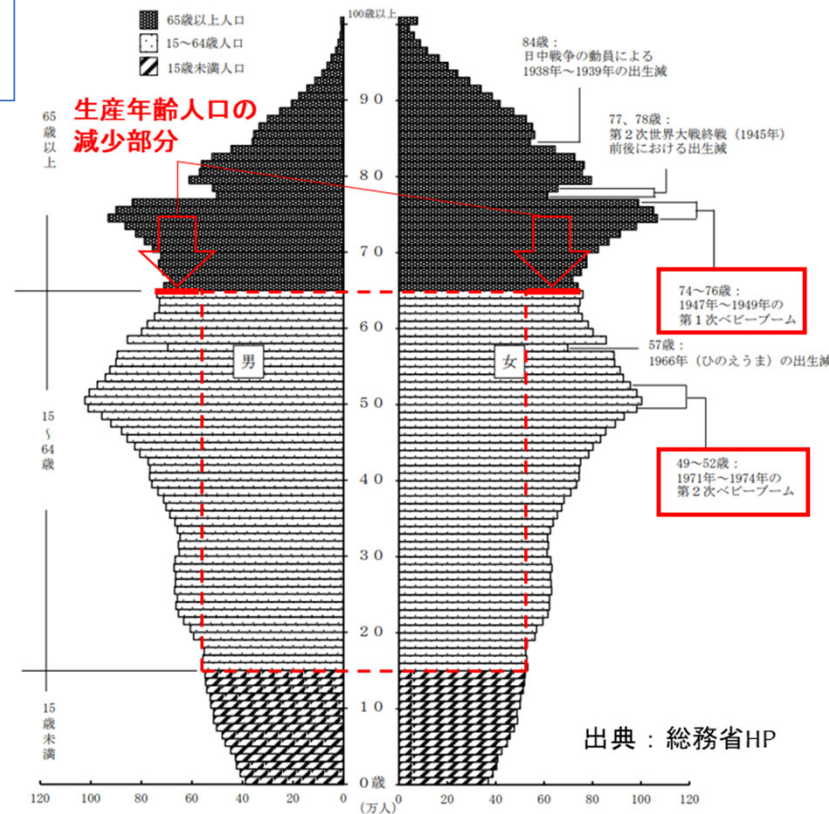
- ❖ 漁業就業者数は20年間で半数程度に減少
- ❖ 日本の生産年齢人口の減少は今後さらに深刻化

### 【漁業就業者数の推移】



資料：農林水産省「漁業センサス」（平成15（2003）、20（2008）、25（2013）、30（2018）及び令和5（2023）年）及び「漁業構造動態調査」（令和3（2021）及び4（2022）年）

### 【日本の人口ピラミッド】



# ～水産業のイノベーションの必要性～ <水産行政課題>

## イノベーションによる水産業の生産性向上が喫緊の課題

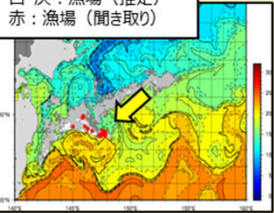
- ❖ スマート水産業※の取組みが様々な場所で進行
- ❖ 技術開発の成果の導入・普及やさらなる高度化が重要

※AI（人工知能）・ICT（情報通信技術）・ロボット等の先端技術を活用して、水産資源の持続的な利用や水産業の成長産業化を実現する取組み

### 【漁業の生産性向上】

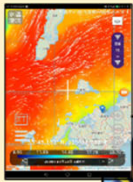
衛星情報やAIを活用した  
沖合の漁場予測情報

背景：水温  
白・灰：漁場（推定）  
赤：漁場（聞き取り）



10日先までの漁場予測して  
情報提供  
(約86%が漁場と一致)

スマホで見られる  
沿岸漁場予測情報



7日先までの水温や海流の  
予測情報をスマホ上で動画  
表示。後継者育成に活用。

操業支援サービスの普及

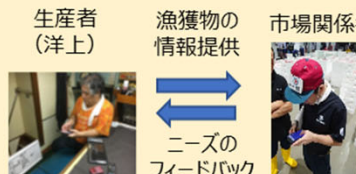
魚群探知機や航跡データを合わせて  
記録・可視化し、船団内で情報共有  
が可能に。操業後、若手漁業者と操  
業を振り返る際にも活用。



(提供：(株)ライトハウス)

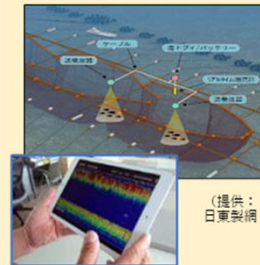
洋上と陸との情報連携の実現

専用アプリを開発し、漁  
獲した漁獲物の情報や  
市場のニーズを漁業・市  
場関係者間で共有し、  
効率的な操業や市場関  
係者の販売促進に活用



(提供：水産大学校松本准教授)

遠隔入網状況把握  
(定置網)



(提供：日東製網(株))

遠隔で魚種毎の入網状況  
を把握し、出漁を判断

### 【養殖業の生産性向上】

配合・給餌 成長度  
A I が配合を推薦

(提供：ウミトン(株))

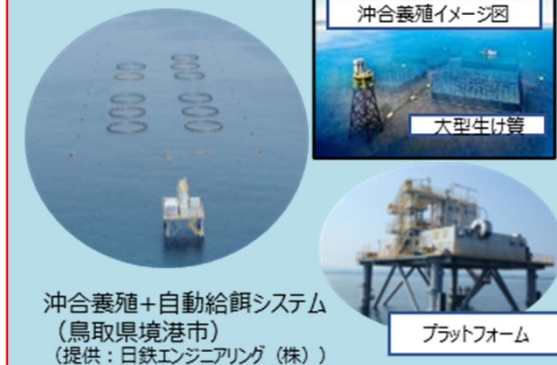
- ・スマホで摂餌状況を確認しながら遠隔給餌
- ・餌代や人件費等の経費を可視化

鳥取県米子市  
(提供：日本水産(株))

千葉県木更津市  
(提供：(株)FRDジャパン)

- ・A I を用いた餌料効率の高い配合飼料の開発
- ・大豆・水素細菌等を用いた低魚粉飼料の開発

沖合養殖イメージ図



沖合養殖+自動給餌システム  
(鳥取県境港市)  
(提供：日鉄エンジニアリング(株))

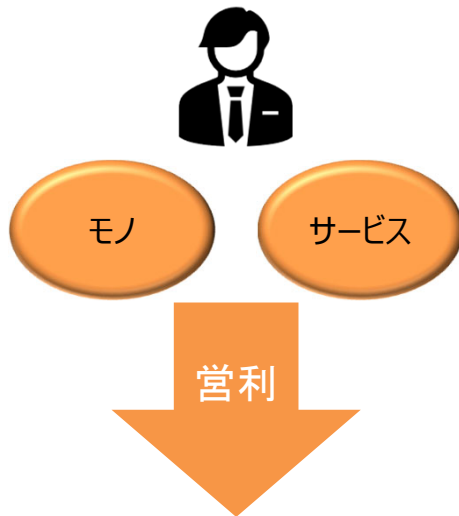
プラットフォーム

# 国家公務員の役割～地方公務員や民間企業との違い～

## 民間企業等

営利を目的としたモノやサービスを提供する仕事

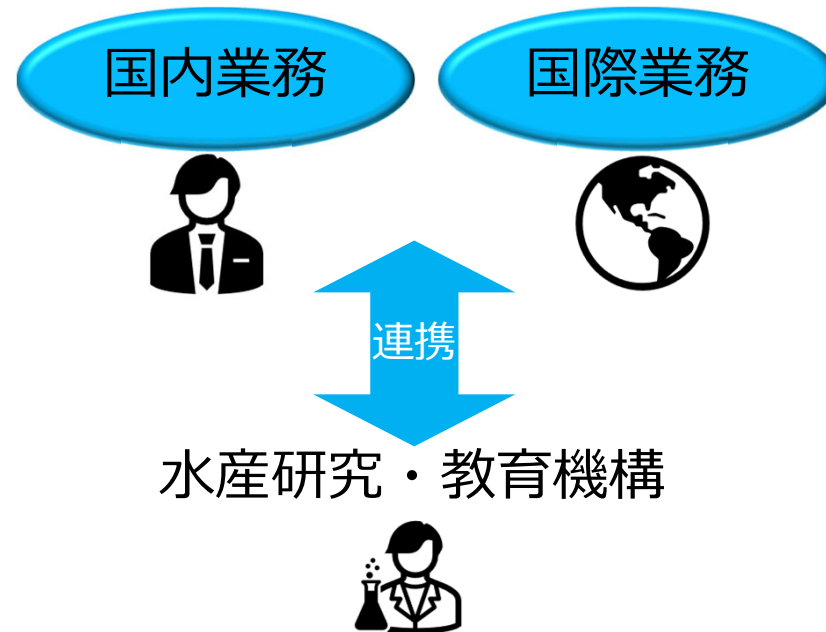
(会社員・個人事業主等)



## 国家公務員

国全体の施策を考え実行する仕事

(水産庁職員)



## 地方公務員

住民のための地域密着型の仕事

(都道府県庁・市町村職員)



## 本日の内容【2/3】

- ① 水産庁のミッション
- ② **業務を通じた成長・働き方**
- ③ キャリアパス・公務員試験

- ❖ 成長を実感できるスケールの大きな業務
- ❖ 国全体に影響を及ぼす様々な政策手段
- ❖ 自己の成長に役立つ充実した研修制度
- ❖ ホワイトな職場を形作る働き方改革



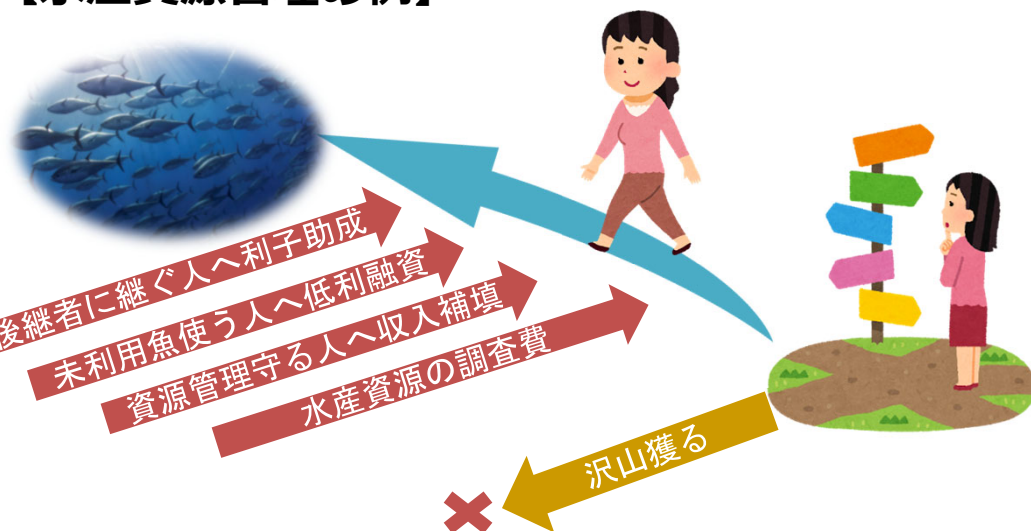
# 成長を実感できるスケールの大きな業務

## 予算・金融・税制

→ 行動変容の動機付け

- ❖ 年間3,000億円もの予算をどう措置するか
- ❖ 大きな影響力がある金融支援・税制優遇

### 【水産資源管理の例】



## 法令・戦略の策定

→ 国の方向性を決める

- ❖ 法令が水産業の大枠を形作っている
- ❖ 多様なステークホルダーを巻き込む戦略作り

### 【多様なステークホルダー】

漁業者・業界団体



国会議員



加工・流通業者



消費者



農水省  
内他部署・  
他省庁



水産庁  
JAPAN FISHERIES AGENCY

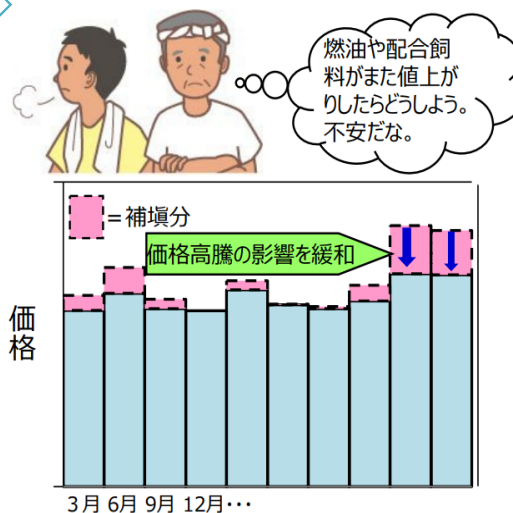
# ～国家予算～＜政策手段＞

## 年間3,000億円もの水産関係予算をどう配分するかを考える

- ❖ 水産行政に必要な予算を農林水産省として取り纏め、財務省と折衝
- ❖ 限られた予算を何にどの程度使用すれば効果的なのか考える必要がある
- ❖ 多くのプロジェクトが実施されており、新たなプロジェクトを考案することも



### 【例 1 : 燃油高騰対策】



### 【例 2 : 災害復旧】



### 【例 3 : 遊漁振興】

ICT遊漁券システムから得られたデータを活用した釣り場管理



## ～政策金融～＜政策手段＞

### 水産業を発展させるために必要な資金をどのように供給するか考える

- ❖ 水産業への融資は審査が厳しい傾向にあり、必要な資金を調達できないことも
- ❖ 1億円の漁船建造に融資を受ける場合、年利2%で初年200万円の利子負担が発生

例えば… 自然災害後に「水産業の早期復興」を図るための政策金融

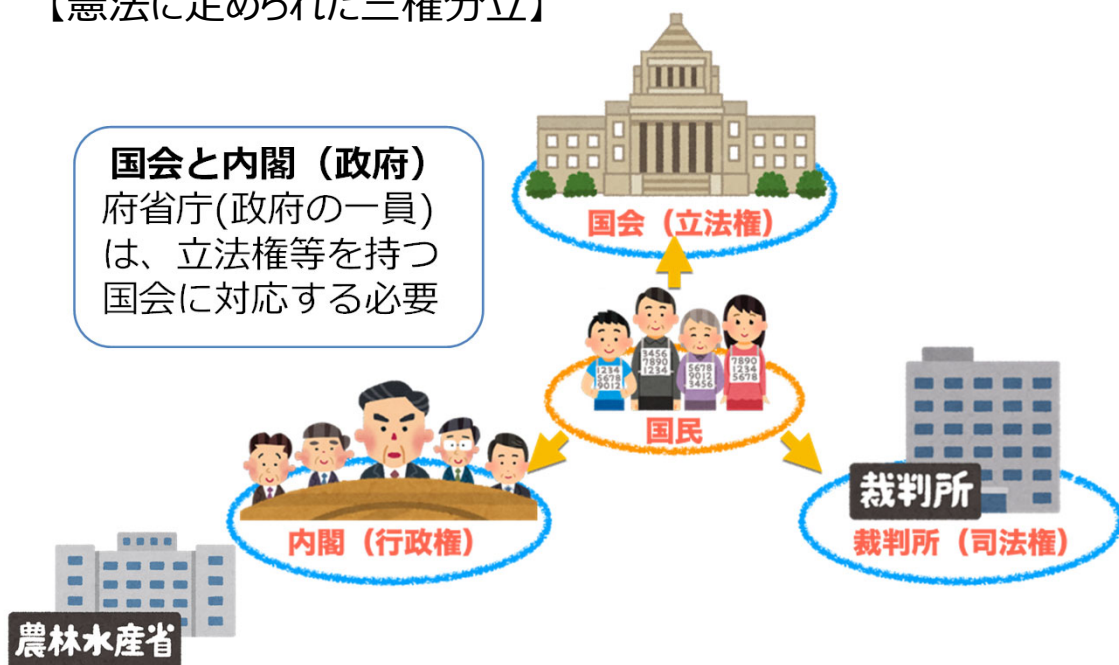


# ～法令の制定・改正～＜政策手段＞

## 日本の水産業を形作っている法令の制定・改正の必要性を考える

- ❖ 憲法に則り、国会が法律案や予算案を審議する
- ❖ 政府案として法律の制定・改正案を国会に提出することができ、原案の作成は府省庁が行う
- ❖ 法律から委任された事項等を定める政令や省令などは政府内で制定・改正する

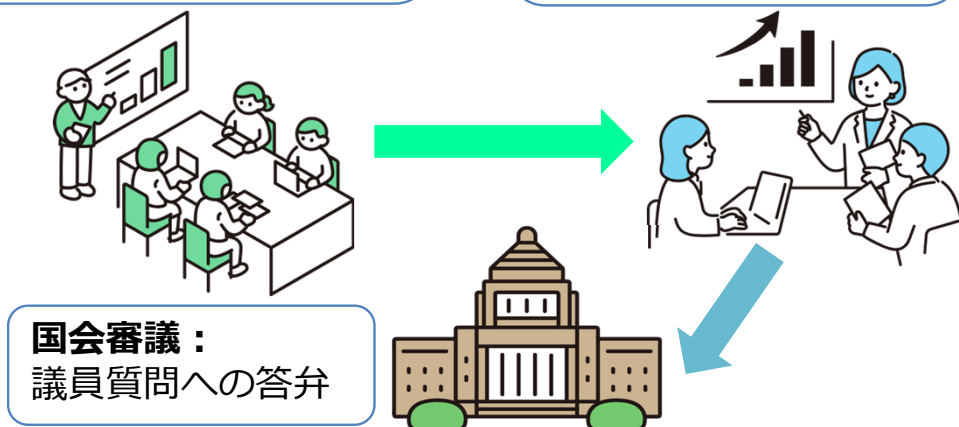
【憲法に定められた三権分立】



【政府案の国会提出まで】

**法案準備：**  
事務官と技官のチームで、法案の論理性や、法令・実体上の整合性を調査

**議員レクチャー：**  
法案の内容や、各議員の懸念事項を、国会審議前に説明・聞き取り



## ～戦略・ガイドラインの策定～＜政策手段＞

### 水産業を担う関係者が一丸となって取組む体制作りを考える

- ❖ 行政が主導して新たな戦略やガイドラインを策定することで、多様な関係者を巻き込むことも可能
- ❖ どのような課題があってどのような水産業の将来を描くのか、考えるきっかけにもなる

漁業者



漁業協同組合



国会議員



商社



加工・流通業者



消費者



金融機関



# 活用できる多様な研修

## 数万人規模・業務のフィールドが広い中央官庁ならではの研修

- ❖ 水産庁が実施する漁村研修、人事院が実施する行政研修・長期在外研究員制度などがある
- ❖ 農林水産省内や全府省庁対象の多様なスキルアップセミナーも随時企画・開催されている

### 漁村研修

- ❖ 水産庁が企画・実施する研修
  - ❖ 入庁2年目以降の職員が参加
  - ❖ 2～4週間の漁村での実地研修
  - ❖ 現場を知ることが職員の第1歩
- ※ 写真はイメージです



### 行政研修

- ❖ 人事院が企画・実施する研修
- ❖ 幹部公務員の候補者に対する研修や役職別の役割に応じた研修を実施
- ❖ 公務員としての使命感や資質能力の向上などが期待できる



### 在外・国内研究員制度

- ❖ 人事院が企画・実施する研修
- ❖ 国内外の修士・博士課程に派遣
- ❖ 在外は米国・英国が多い
- ❖ 国内は東大・京大など
- ❖ 複雑かつ高度化する行政に対応し得る専門的な知識、技能等を習得することができる



### スキルアップセミナー

- ❖ 農林水産省が企画・実施する研修や他の府省庁主催の研修がある
- ❖ 農林水産業の新たな技術や学術研究、先進的なサービスなどのセミナー
- ❖ 法務や会計、広報などのセミナーや語学研修なども企画・開催



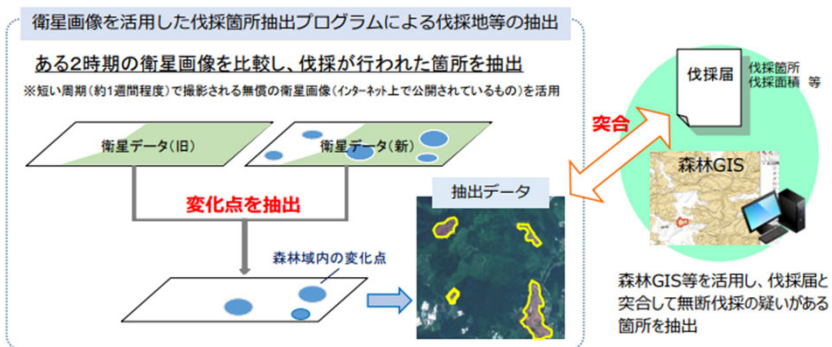
# 若手から組織を変える新たなチャレンジ

## 若手有志で組織の枠にとらわれない新たなチャレンジも

### 政策Open Lab・チーム2050

- ❖ 所属にかかわらず関心のある職員が混成チームを組み、新たな行政課題に対して自由な発想で政策立案
- ❖ 水産庁職員の参加したプロジェクト例
  - ・ 衛星画像を活用した無断伐採対策プログラムの開発
  - ・ 米粉の消費拡大プロジェクト

#### 【衛星画像を活用した無断伐採対策】



政策Open Lab米粉消費促進チーム  
(通称コメニ：リーダーは水産庁職員！)



### BUZZ MAFF (官僚YouTuber)

- ❖ 農林水産省職員自らがYoutuberとなり、担当業務にとらわれず、スキルや個性を生かして、農林水産省や農林水産業の魅力を発信するプロジェクト
- ❖ 省内公募選出チーム、水産庁では「ぎょぎょチャンネル」のメンバーが水産業の魅力を発信

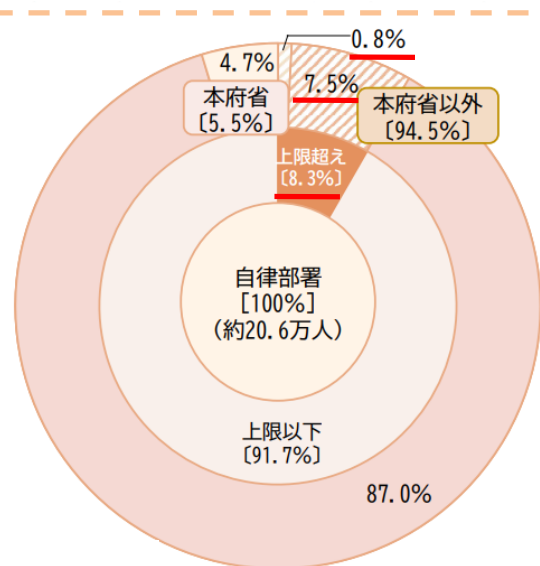


# 働き方改革・ワークライフバランス

## 中央官庁の働き方改革を政府全体で強力に推進

- ❖ 部署の特性に応じ、月45時間以下などの超過勤務の上限を定めている
- ❖ 定められた超過勤務の上限を超えた職員は、全体の1割前後（8%～16%）
- ❖ 超過勤務の大きな要因である国会対応業務は、質問通告の早まりやデジタル化で削減傾向

### 【自律部署：他律業務無し（令和5年度）】



#### 特例業務に従事する場合

※「特例業務」とは、大規模災害への対処、重要な政策に関する法律の立案、他国又は国際機関との重要な交渉その他の重要な業務であって特に緊急に処理することを要するものと各省各庁の長が認める業務をいう。

- ◆ 月45時間以下
- ◆ 年360時間以下

#### 超過勤務

- ◆ 月100時間未満
- ◆ 年720時間以下
- ◆ 2～6箇月平均80時間以下(注)
- ◆ 月45時間超は年6箇月まで

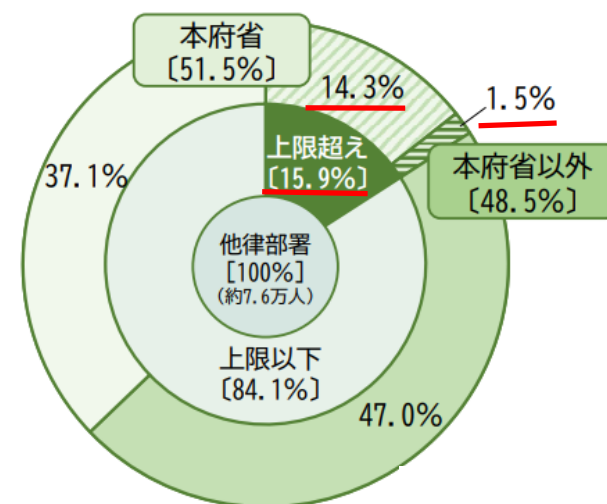
(注) 2箇月、3箇月、4箇月、5箇月、6箇月のいずれの期間においても、平均が80時間以下であることをいう。

#### 正規の勤務時間

原則  
〔自律部署〕

他律的業務の比重が高い部署  
〔他律部署〕

### 【他律部署：国会等の他律業務有り（令和5年度）】



# 育児や介護と両立した働き方

## 育児のための主な制度概要

常勤職員用

### 休業・休暇を取得したい

#### 育児休業

- ・子が3歳まで一定期間の休業  
(原則2回まで分割取得可、無給)

#### 育児短時間勤務

- ・短い勤務時間(4時間55分×5日等数パターン)での勤務(子が未就学まで)

#### 育児時間

- ・①1日につき2時間まで又は②1年につき10日相当の時間までのいずれかを選択して取得
- ・無給(子が未就学まで)

#### 育児参加のための休暇 子の看護等休暇

- ・日又は時間単位の有給休暇
- ・育児参加休暇: 5日(妻の産前から出産日以後1年の期間)
- ・子の看護等休暇: 1年に5日(子が2人以上であれば10日)(小学校3年生まで)

### 勤務時間帯を変更したい

#### フレックスタイム制

- ・1日の勤務時間数を、7時間45分以外に設定可(2～4時間の最短勤務時間あり)
- ・勤務時間帯を、5時～22時の間で設定可(9～16時に2～4時間のコアタイムあり)
- ・土日以外にも勤務しない日を週1日を限度に設定可

※総勤務時間数を保つよう、週単位(1～4週間)で希望する勤務時間を申告

#### 早出遅出勤務

- ・1日の勤務時間数を保ったまま、早出や遅出可
- ・いくつかの早出遅出勤務のパターンから、希望するものを選択  
(例: 早 7:30～16:15 遅 10:30～19:15等)

### 超勤・深夜勤を避けたい

#### 深夜勤務の制限

- ・午後10時から翌日午前5時までの間勤務しないことが可能

#### 超過勤務の制限

- ・超過勤務の時間数を、「1月に24時間、1年に150時間」までに制限可能
- ※災害等による臨時の勤務は除く

#### 超過勤務の免除

- ・超過勤務をしないことが可能
- ※災害等による臨時の勤務は除く

- ※ 各省各庁の長に対する請求や申告が必要。公務の運営に支障がある場合、承認されないこともあります。
- ※ 育児休業期間中は、国家公務員共済組合から育児休業手当金(～67%)が支給されます。(子が1歳になるまで)

# 育児や介護と両立した働き方

## 介護のための主な制度概要

常勤職員用

### 休暇を取得したい

#### 介護休暇

- ・日又は時間単位（～4時間）の無給休暇
- ・家族1人に6月まで（3回まで分割可）  
※異なる要介護状態になった場合には再取得可
- ・期間内に出勤する日を設けることも可

#### 介護時間

- ・30分単位（～2時間）の無給休暇
- ・家族1人に3年間まで  
※異なる要介護状態になった場合には再取得可

#### 短期介護休暇

- ・日又は時間単位の有給休暇
- ・通院の付添いや、介護サービスの手続の代行（間接的介護）のためにも利用可
- ・1年に5日（要介護家族が2人以上であれば10日）まで

### 勤務時間帯を変更したい

#### フレックスタイム制

- ・1日の勤務時間数を、7時間45分以外に設定可（2～4時間の最短勤務時間あり）
- ・勤務時間帯を、5時～22時の間で設定可（9～16時に2～4時間のコアタイムあり）
- ・土日以外にも勤務しない日を週1日を限度に設定可

※総勤務時間数を保つよう、週単位（1～4週間）で希望する勤務時間を申告

#### 早出遅出勤務

- ・1日の勤務時間数を保ったまま、早出や遅出可
- ・いくつかの早出遅出勤務のパターンから、希望するものを選択  
（例：早 7:30～16:15 遅 10:30～19:15等）

### 超勤・深夜勤を避けたい

#### 深夜勤務の制限

- ・午後10時から翌日午前5時までの間勤務しないことが可能

#### 超過勤務の制限

- ・超過勤務の時間数を、  
「1月に24時間、1年に150時間」までに制限可能  
※災害等による臨時の勤務は除く

#### 超過勤務の免除

- ・超過勤務をしないことが可能  
※災害等による臨時の勤務は除く

- ※ 各省各庁の長に対する請求や申告が必要。公務の運営に支障がある場合、承認されないこともあります。
- ※ 1日単位で介護休暇を取得した日は、国家公務員共済組合から介護休業手当金（67%）が支給されます。（66日まで）

# 若手の待遇や職場環境の改善

## 若手の待遇改善やジェンダー平等の取組を推進

- ❖ 令和6年度、7年度の人事院勧告により国家公務員の初任給が大幅に増加
- ❖ 農林水産省の女性の採用割合は4割を超えており、女性も働きやすい環境を整備

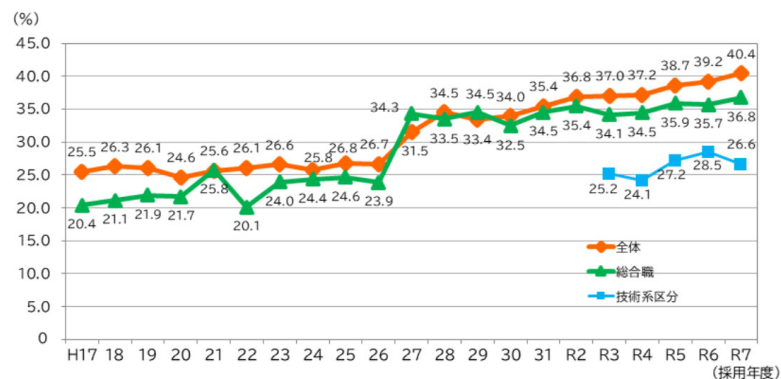
【本府省勤務の場合】

○新卒初任給（例）

|                           | 月額 |    | 年間給与 |    | 残業代・住居手当込みの金額 |    | 月額  |    | 年間給与 |    |
|---------------------------|----|----|------|----|---------------|----|-----|----|------|----|
|                           | 約  | 万円 | 約    | 万円 | 約             | 万円 | 約   | 万円 | 約    | 万円 |
| 総合職・大卒<br>(行(一)2級1号俸の場合)  | 30 |    | 490  |    | 39            |    | 610 |    |      |    |
| 一般職・大卒<br>(行(一)1級25号俸の場合) | 29 |    | 470  |    | 38            |    | 580 |    |      |    |

※ 残業代（超過勤務手当）は月30時間分、住居手当は月28,000円で算定

○ 国家公務員採用試験からの採用者に占める女性の割合の推移



### 子育てと仕事を両立している職員の声

- ❖ 3歳差の2人の子どもを育てるため、時短勤務を活用しています。時間の制約上、参加できない業務もありますが、理解のある職員の皆さんに支えられ仕事を続けられています。子育てに疲弊したとき、職場に来ることは良い気分転換にもなっています。
- ❖ 短い時間内に成果を出せるよう効率よく作業する、保育園からの急な呼び出しを想定し担当業務の進捗状況をこまめに周りに知らせておくなど工夫は必要ですが、子育てと仕事の両立を図りやすい職場だと感じています。



# 若手職員からのメッセージ



Oさん

係長

平成30(2018)年 入省



Yさん

係員

令和6(2024)年 入省

## 科学的根拠を徹底した職員を目指す

- ❖ 生物の生態面の情報が十分に考慮された施策が徹底して講じられているのか疑問に感じることがあり、業務の遂行に科学的根拠を重視した視点をもって貢献したいと考え、水産庁を志望しました。
- ❖ 水産庁の魅力は、生物資源が消費者へたどり着く過程の根幹となる一次生産活動に携わることができることです。生物のことも考えながら、消費者の立場で自分の業務の影響を身近に感じることができます。食堂がおいしいところも魅力の一つかと思います。

## 柔軟な発想と成長が期待できる職場

- ❖ 大学で水産学を専攻し、日本の水産業について理解を深める中で、水産物の食料安全保障が脅かされている現状に大きな危機感を抱きました。持続的な水産業の実現のために、自分の専門分野を活かして貢献したいと考え、水産庁を志望しました。
- ❖ 水産庁の魅力は、水産物の生産から消費までの幅広い業務に関わることができる点です。それぞれの課題を分析し、解決策を考え、実行することで自己の成長にも繋がると考えます。明るく、優しい先輩方が多いので働きやすい点も魅力です。

## 本日の内容【3/3】

- ① 水産庁のミッション
- ② 業務を通じた成長・働き方
- ③ **キャリアパス・公務員試験**

- ❖ 農林水産省が歓迎する人材
- ❖ 多様なバックグラウンドを持つ職員達
- ❖ 豊富な経験が得られるキャリアパス
- ❖ 前向きな取組が報われる公務員試験



# 農林水産省が歓迎する人材～農林水産省の掲げるビジョンから～

わたしたち 農林水産省は、  
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を  
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、  
常に国民の期待を正面から受けとめ  
時代の変化を見通して政策を提案し、  
その実現に向けて**全力で行動**します。

◆ 周囲の人と力を合わせ、  
仕事をやり遂げることができる人物



◆ 新たな課題にも  
積極的に取り組むことができる人物



試験の合格順位よりも面接を重視し、  
出身大学や専攻分野は関係ありません。



# キャリアパス

## 幅広いフィールドの中で豊富なキャリアパスの選択肢がある

- ❖ 数年毎の異動で様々な業務を経験
- ❖ 4つの部で30を超える課室が存在
- ❖ 他省庁や在外公館、法人等に出向も可能
- ❖ 多種多様なキャリアパスが存在

【課室の中の役割（役職順）】

係員クラス

係長クラス

課長補佐クラス

室長クラス

課長クラス

【水産庁の本庁内の4つの部】

漁政部



【Keywords】水産改革、新規就業者対策、水産流通適正化法、積立ぶらす...etc.

資源管理部



【Keywords】新たな資源管理、TAC、IQ、漁業権、遊漁、漁業の許認可、商業捕鯨、国際交渉、外国漁船対策...etc.

増殖推進部



【Keywords】漁船の省エネ化、原発事故からの復興、資源評価、CITES、養殖業の成長産業化、ウナギの資源管理、栽培漁業...etc.

漁港漁場整備部



【Keywords】公共事業、施設整備、魚礁整備、海業、磯焼け対策、浜プラン...etc.

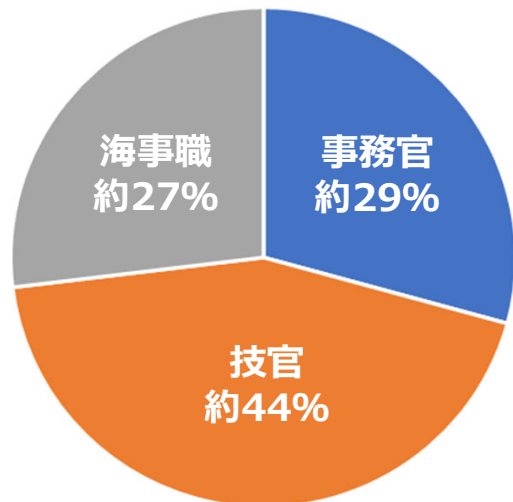
水産庁  
JAPAN FISHERIES AGENCY

# 職員の多様性

## 一千人に上る多様な職員が力を合わせてミッションを遂行

- ❖ 水産庁の定員数は約1,000人であり、官種は事務官・技官・海事職に分けられる
- ❖ 事務官は文系、技官は理系の多様な教育機関の卒業生が多く、民間企業の経験者も
- ❖ それぞれの専門性・特性や本人の希望を勘案し、配属先を決定

【官種別の割合】



【業務の一例】

- ❖ 事務官：人事、経理、会計、広報、施策の企画立案・実施
- ❖ 技官：資源管理、海洋環境、スマート化、施策の企画立案・実施
- ❖ 海事職：外国漁船等の漁業取締り、資源調査船による調査

# 先輩たちのキャリアステップ ～ケース1～

入省

H24.4 水産庁 資源管理部 漁業調整課 指定漁業第3班

↓ (7ヶ月) [ いか釣り・さんま漁業国内許認可 ]

H24.11 水産庁 資源管理部 国際課 国際協定第1班

↓ (2年間) [ まぐろ交渉 (CCSBT)、南極底魚交渉 (CCAMLR) ]

H27.7 長期在外研究員 (人事院の留学制度) 留学制度に応募

↓ (2年間) [ University of California, Los Angeles 公共政策学  
FAO(国連食糧農業機関)にて短期インターン 係長昇任 ]

H29.6 水産庁 漁政部 加工流通課 水産貿易対策室

↓ (1年間) [ WTO漁業補助金交渉、OECD水産委員会対応 ]

H30.5 水産庁 漁政部 水産経営課 金融第1班

↓ (2年間) [ 漁業者向け金融等 ]

R2.2 産前・産後・育児休業取得

R4.5 水産庁 漁政部 水産経営課 組織班

課長補佐昇任

↓ (3年間) [ 漁協の経営指導、合併の推進 ]

R7.4 水産庁 資源管理部 国際課 国際協定第2班

(現職) [ まぐろ交渉 (ICCAT、IOTC) ]

**Fさん**

平成24(2012)年 入省

試験区分：  
国家総合職 (農業科学・水産)

国際交渉から国内の水産業まで  
俯瞰して見られるゼネラリストに



水産庁  
JAPAN FISHERIES AGENCY

# 先輩たちのキャリアステップ ～ケース2～

**Hさん**

平成22(2010)年 入省

試験区分：  
国家一般職（行政）

入省

H22.4 水産庁 漁政部 水産経営課 総括班

↓ (2年間) [ 所掌事務（漁業者向け金融や漁協への指導等）に関する総合的な企画、立案、連絡調整、国会対応等 ]

H24.1 東日本大震災復興対策本部 岩手現地対策本部  
(現 復興庁 岩手復興局) 事務局員

↓ (2年間) [ 岩手県における東日本大震災の復興対応  
(被災市町村からの相談窓口、復興交付金等の活用による被災地支援等) ]

H26.4 水産庁 漁政部 漁政課 主計班

↓ (3年間) [ 水産庁予算の編成対応（予算の取りまとめ、計数管理等） ]

H29.4 九州漁業調整事務所 漁業監督課 捜査専門職

係長昇任

↓ (2年半) [ 拿捕・漁具押収事案に係る捜査書類の作成、漁業監督官として取締船に乗船、漁船の法令遵守状況の監視、検査等 ]

R1.10 水産庁 漁政部 加工流通課 総括班 調整係長

↓ (2年半) [ 所掌事務（水産物の加工、流通及び消費の増進等）に関する総合的な企画、立案、連絡調整、予算要求等 ]

R4.4 水産庁 漁政部 漁政課 主計班 予算総括係長

↓ (3年間) [ 水産庁予算の編成対応（要求内容の検討・取りまとめ、財務省との折衝等）、適正な予算執行の確保等 ]

R7.4 水産庁 漁港漁場整備部 防災漁村課 構造改善施設班 整備係長

[ 漁業経営の構造改善に関する事業の整備計画（水産業共同利用施設整備に係る事業内容の検討、必要な予算要求、財務省との折衝等）、事業の適正な予算執行（都道府県への予算配分）等 ]

現場経験が豊富な  
水産予算の折衝のエキスパートに



5年目

10年目

# 先輩たちのキャリアステップ ～ケース3～

**Mさん**

平成18(2006)年 入省

試験区分：

国家一般職相当（水産）  
→総合職（水産）

※入庁後に幹部職員候補へ登用

海外事情や国家主権にも精通した  
水産行政のオールラウンダーに



水産庁  
JAPAN FISHERIES AGENCY

34

入省

H18.4 水産庁 資源管理部 国際課 ロシア班

↓(1年半)(2年半) [ ロシアとの二国間交渉 ※その後2年半北海道漁業調整事務所で勤務 ]

H22.1 水産庁 資源管理部 管理課 資源管理推進室

↓(2年間) [ 都道府県の資源回復計画、資源管理協定等 ]

H23.12 水産庁 漁政部 加工流通課 水産貿易対策室

↓(2年間) [ WTO、OECDへの対応、ロシアとのカニの密漁防止協定 ]

H26.4 水産庁 資源管理部 漁業調整課 指定漁業第1班

係長昇任

↓(1年間) [ 大中型まき網漁業の国内対応、マグロ等に係る国際業務 ]

H27.4 内閣官房 領土・主権対策企画調整室 主査

他省庁に出向

↓(2年間) [ 竹島・尖閣諸島に関する対外発信、海外セミナー ]

H29.4 水産庁 資源管理部 漁業調整課 国際漁業管理官

↓(2年間) [ サンマ漁業、イカ釣り漁業の国内対応、国際関係業務 ]

H31.3 在ミクロネシア連邦日本国大使館 二等書記官

外務省に出向

↓(3年間) [ ミクロネシア連邦政府への経済協力、外交に関する業務 ]

R4.3 水産庁 資源管理部 漁業取締課 課長補佐

課長補佐昇任

↓(2年間) [ 外国漁船（韓、中、露、台等）の取締り ]

R6.7 水産庁 資源管理部 国際課 ロシア班（2回目）

（現職）

5年目

10年目

15年目

# 水産庁に少しでも興味を持ったら

## 国家公務員の採用試験を受けてみませんか？

- ❖ 公務員試験課題は専門家が手をかけて作成しており、無料で受験可能
- ❖ 全国各地を会場として試験を実施しており、これまでの学びの成果の確認にも活用可能
- ❖ 例年1月頃に受験案内が掲載され、2月頃にインターネット等で受験申込期間が公表
- ❖ 公務員試験に合格した場合、合格発表日より5年間は国家公務員「採用候補者名簿」に掲載

### 国家公務員試験 採用情報NAVI（人事院HP）

国家公務員に興味を持った方に  
必要な情報を網羅的に掲載

### 一般職相当（水産系） （水産庁HP）

一般職相当（水産系）の採用  
試験情報のみ水産庁HPに掲載



国家公務員試験  
採用情報NAVI



国家公務員の紹介 採用情報 試験情報 説明会・セミナー よくある質問



あなたの毎日が、  
あしたを変える。



Webからご覧のみなさま：青字を([Ctrl]+)クリックでリンク先が確認できます

水産庁  
JAPAN FISHERIES AGENCY

# 公務員試験について

これまで学んだ専門知識と論理的思考力、適性が試される

次の課題の対応を総合的に勘案し国家公務員としての適性を確認

- ❖ 文章理解や判断・数的推理、時事・教養問題
- ❖ 多岐選択式の専門試験
- ❖ 記述式の専門試験
- ❖ 面接を通じた人柄、コミュニケーション能力
- ❖ グループワーク又は小論文の作成（総合職のみ）
- ❖ 外国英語試験のスコア（総合職のみ：若干の加点要素）



# 国家公務員採用の試験区分について

## 専門性や適性などから試験区分を選択する必要がある

- ❖ 総合職：政策の企画、立案や部局内の業務の取りまとめ、  
庁内外との調整の前線に立つ業務に従事することが多い傾向にある
- ❖ 一般職：総務、会計等の管理業務や  
事業の実施に係る業務に従事することが多い傾向にある

### 【水産庁の採用区分】

| 採用区分  |                      | 試験区分                                                      |
|-------|----------------------|-----------------------------------------------------------|
| 総合職   | 水産技術系<br>(水産技術系・機電系) | 農業科学・水産、化学・生物・薬学、数理科学・物理・地球科学、<br>人間科学、教養（大卒区分のみ）、工学、デジタル |
|       | 工学系（土木・建築等）          | 化学・生物・薬学、数理科学・物理・地球科学、人間科学、<br>教養（大卒区分のみ）、工学、デジタル         |
|       | 事務系※ 1               | 政治・国際・人文、法律、経済、教養（大卒区分のみ）、行政                              |
| 一般職   | 行政                   | 行政                                                        |
|       | 工学                   | 土木、建築、機械、デジタル・電気・電子、物理                                    |
| 一般職相当 | 水産                   | 水産                                                        |

※ 1 水産庁における事務官の採用は一般職行政のみであり、総合職事務系は農林水産省における採用となります。

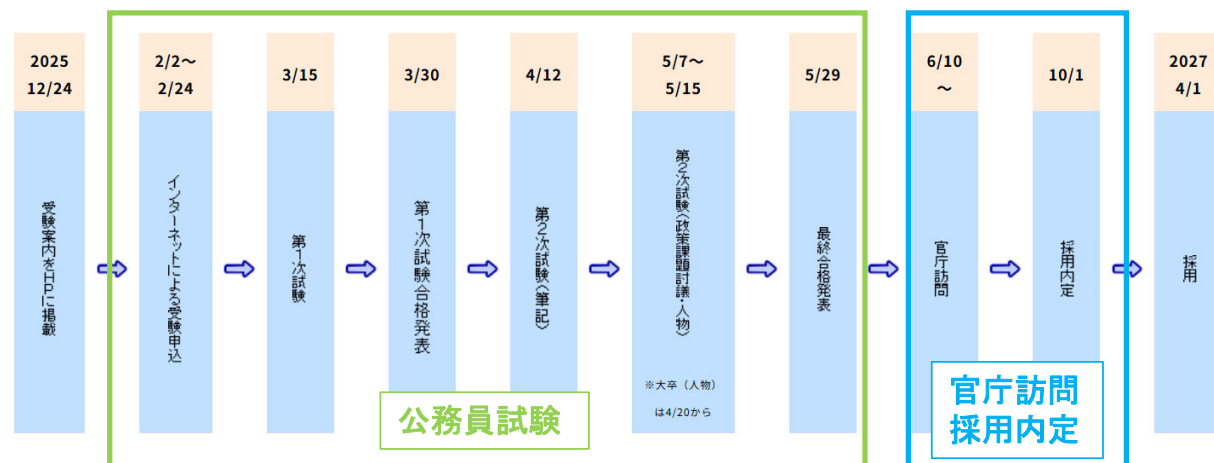
※ 2 海事職の採用情報については、水産庁HP（[こちら](#)）をご確認ください。

# 採用までの流れについて～2026年度の例～

国家公務員としての適性を試す「公務員試験」と  
志望官庁から内定を得る「官庁訪問」の2つのステップがある

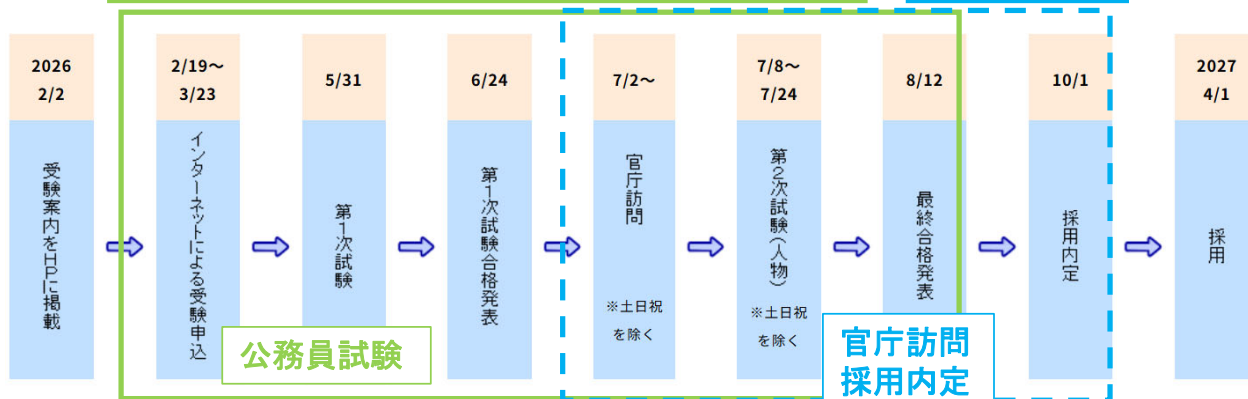
## 総合職試験（2026年度）

- ❖ 例年1月前後に受験案内が掲載
- ❖ 「総合職試験」と「一般職試験」の実施時期は異なるため、両方の試験を受けることも可能



## 一般職試験※（2026年度）

※「一般職相当（水産系）試験」は、「公務員試験」が「官庁訪問」の役割を兼ねるなど、独自スケジュールとなり、「一般職試験」の日程から多少前後する



# 官庁訪問について～総合職の場合～

訪問した官庁への理解を深めるとともに志望度や適性をアピールする機会

❖ 公務員試験合格者が志望官庁を訪問し、業務説明や面接を受けるもので、実質的な採用面接の場となる  
(民間企業で言うところの「採用選考活動」)

## 2026年国家公務員試験総合職試験（教養区分以外）スケジュール

- 申込受付期間：2月2日（月）～2月24日（火）
- 第1次試験日：3月15日（日）
- 第1次合格者発表日：3月30日（月）
- 第2次試験日（筆記試験）：4月12日（日）
- 第2次試験日（人物試験等）：4月20日/5月7日～15日（金）
- 最終合格者発表：5月29日（金）
- 官庁訪問

## 【春試験合格者の官庁訪問のスケジュール（2026年）】

- 第1クール：6月10日（水）から3日間
- 第2クール：6月15日（月）から3日間
- 第3クール：6月18日（木）から2日間
- 第4クール：6月22日（月）
- (内々定解禁：6月22日（月）15時以降)

|       |                            |                         |                          |                         |                |                  |
|-------|----------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|----------------|------------------|
| 1     | 2                          | 3                       | 4                        | 5                       | 6              | 7                |
| 総合職試験 | 最終合格者発表日                   | 官庁訪問<br>事前予約            | 官庁訪問                     | 内々定                     | 内定             | 採用               |
|       | 2026年<br>5月29日(金)<br>16:00 | 6月1日(月)<br>9:00以降<br>開始 | 6月10日(水)<br>8:00以降<br>開始 | 6月22日(月)<br>15:00<br>解禁 | 10月1日(木)<br>以降 | 2027年<br>4月1日(木) |

| 月  | 5月  |         |     | 6月                       |     |         |              |    |    |    |              |    |    |              |    |    |    |              |    |  |
|----|-----|---------|-----|--------------------------|-----|---------|--------------|----|----|----|--------------|----|----|--------------|----|----|----|--------------|----|--|
| 日  | ... | 29      | ... | 1                        | ... | 9       | 10           | 11 | 12 | 13 | 14           | 15 | 16 | 17           | 18 | 19 | 20 | 21           | 22 |  |
| 曜日 | ... | 金       | ... | 月                        | ... | 火       | 水            | 木  | 金  | 土  | 日            | 月  | 火  | 水            | 木  | 金  | 土  | 日            | 月  |  |
|    |     | 最終合格発表日 |     | 官庁訪問の予約受付開始<br>(予約は省庁ごと) |     | 官庁訪問開始日 | 第1クール<br>3日間 |    |    |    | 第2クール<br>3日間 |    |    | 第3クール<br>2日間 |    |    |    | 第4クール<br>1日間 |    |  |
|    |     |         |     |                          |     |         |              |    |    |    |              |    |    |              |    |    |    |              |    |  |
|    |     |         |     |                          |     |         |              |    |    |    |              |    |    |              |    |    |    |              |    |  |
|    |     |         |     |                          |     |         |              |    |    |    |              |    |    |              |    |    |    |              |    |  |
|    |     |         |     |                          |     |         |              |    |    |    |              |    |    |              |    |    |    |              |    |  |

# 公務員試験について～総合職（教養区分以外）の場合～

## ◇試験の種目・試験の方法

### ➤ 院卒者試験

| 試験         | 試験種目              | 解答題数<br>解答時間      | 配点<br>比率       | 内 容                                                                                                                   |
|------------|-------------------|-------------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1次<br>試 験 | 基礎能力試験<br>(多肢選択式) | 30 題<br>2 時間 20 分 | $\frac{2}{15}$ | 公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験<br>● 知能分野 24 題<br>文章理解⑩<br>判断・数的推理（資料解釈を含む。）⑭<br>● 知識分野 6 題<br>自然・人文・社会に関する時事、情報⑥    |
|            | 専門試験<br>(多肢選択式)   | 40 題<br>3 時間 30 分 | $\frac{3}{15}$ | 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験<br>(出題分野及び出題数は別表のとおり)                                                                   |
| 第2次<br>試 験 | 専門試験<br>(記述式)     | 2 題<br>3 時間       | $\frac{5}{15}$ | 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験<br>(出題分野及び出題数は別表のとおり)                                                                   |
|            | 政策課題討議<br>試験      | おおむね<br>1 時間 30 分 | $\frac{2}{15}$ | 課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験                                                                        |
|            | 人物試験              |                   | $\frac{3}{15}$ | 人柄、対人的能力などについての個別面接                                                                                                   |
| 英語試験       |                   |                   |                | 外部英語試験（TOEFL (iBT)、TOEIC Listening & Reading Test（公開テストに限る。）、IELTS、実用英語技能検定）を活用し、スコア等に応じて総得点に 15 点又は 25 点を加算<br>※別紙参照 |

### ➤ 大卒程度試験

| 試験         | 試験種目              | 解答題数<br>解答時間      | 配点<br>比率       | 内 容                                                                                                                   |
|------------|-------------------|-------------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1次<br>試 験 | 基礎能力試験<br>(多肢選択式) | 30 題<br>2 時間 20 分 | $\frac{2}{15}$ | 公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験<br>● 知能分野 24 題<br>文章理解⑩<br>判断・数的推理（資料解釈を含む。）⑭<br>● 知識分野 6 題<br>自然・人文・社会に関する時事、情報⑥    |
|            | 専門試験<br>(多肢選択式)   | 40 題<br>3 時間 30 分 | $\frac{3}{15}$ | 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験<br>(出題分野及び出題数は別表のとおり)                                                                   |
| 第2次<br>試 験 | 専門試験<br>(記述式)     | 2 題<br>3 時間       | $\frac{5}{15}$ | 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験<br>(出題分野及び出題数は別表のとおり)                                                                   |
|            | 政策論文試験            | 1 題<br>2 時間       | $\frac{2}{15}$ | 政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験                                                                                 |
|            | 人物試験              |                   | $\frac{3}{15}$ | 人柄、対人的能力などについての個別面接                                                                                                   |
| 英語試験       |                   |                   |                | 外部英語試験（TOEFL (iBT)、TOEIC Listening & Reading Test（公開テストに限る。）、IELTS、実用英語技能検定）を活用し、スコア等に応じて総得点に 15 点又は 25 点を加算<br>※別紙参照 |

# 公務員試験・官庁訪問について～一般職：行政系・工学系の場合～

➤ 一般職試験（大卒程度試験）

➤ スケジュール（2026年）

第1次公務員試験：5月31日（日）  
官庁訪問：7月2日（木）～（内々定解禁：8月12日）  
第2次公務員試験（面接）：7月8日（水）～24日（金）  
最終合格者発表（公務員試験）：8月12日（水）

|                |                           |                          |                         |                                                   |                                               |                |                  |
|----------------|---------------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------|----------------|------------------|
| 1              | 2                         | 3                        | 4                       | 5                                                 | 6                                             | 7              | 8                |
| 一般職試験<br>第1次試験 | 第1次試験<br>合格者発表日           | 官庁訪問<br>事前予約             | 官庁訪問<br>(条件付内々定<br>可)   | 一般職試験<br>第2次試験                                    | 官庁訪問<br>(8/12～<br>内々定解禁)                      | 内定             | 採用               |
|                | 2026年<br>6月24日(水)<br>9:00 | 6月25日(木)<br>9:00以降<br>開始 | 7月2日(木)<br>9:00以降<br>開始 | ※第2次試験<br>期間中<br>(7月8日(水)～<br>7月26日(日))<br>官庁訪問禁止 | 7月27日(月)<br>官庁訪問<br>再開<br>※8月12日(水)<br>最終合格発表 | 10月1日(木)<br>以降 | 2027年<br>4月1日(木) |

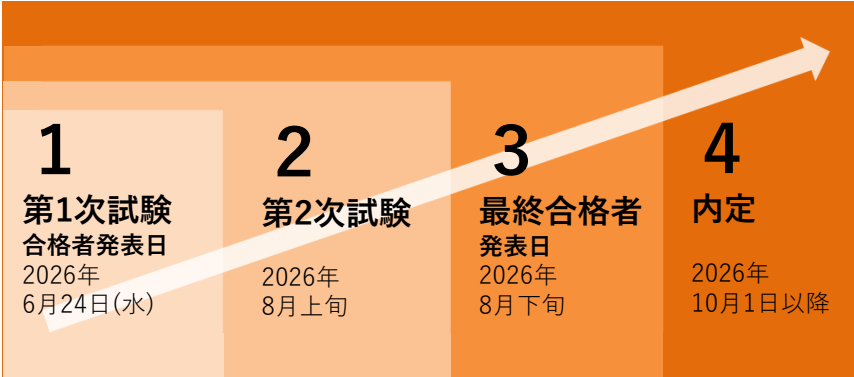
◇ 試験の種目・試験の方法（例：行政・建築・教養以外の区分）

| 試験        | 試験種目              | 解答題数<br>解答時間         | 配点比率            |               | 内 容                                                                                                      |
|-----------|-------------------|----------------------|-----------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           |                   |                      | 建築<br>区分        | 建築以外<br>の区分   |                                                                                                          |
| 第1次<br>試験 | 基礎能力試験<br>(多肢選択式) | 30題<br>1時間50分        | $\frac{2}{9}$   | $\frac{2}{9}$ | 公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験<br>知能分野 24題<br>文章理解⑩、判断推理⑦、数的推理④、資料解釈③<br>知識分野 6題<br>自然・人文・社会に関する時事、情報⑥ |
|           | 専門試験<br>(多肢選択式)   | 【建築区分】<br>33題 2時間    | $\frac{2.5}{9}$ | －             | 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験<br>(出題分野及び出題数は別表（12ページ参照）のとおり)                                             |
|           |                   | 【建築以外の区分】<br>40題 3時間 | －               | $\frac{4}{9}$ |                                                                                                          |
|           | 専門試験<br>(記述式)     | 【建築区分】<br>1題 2時間     | $\frac{2.5}{9}$ | －             | 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験<br>(出題分野及び出題数は別表（12ページ参照）のとおり)                                             |
|           |                   | 【建築以外の区分】<br>1題 1時間  | －               | $\frac{1}{9}$ |                                                                                                          |
| 第2次<br>試験 | 人物試験              |                      | $\frac{2}{9}$   | $\frac{2}{9}$ | 人柄、对人的能力などについての個別面接                                                                                      |

| 月  | 6月  |           |                          |     | 7月      |   |   |   | 8月 |                    |   |        |       |    |     |    |
|----|-----|-----------|--------------------------|-----|---------|---|---|---|----|--------------------|---|--------|-------|----|-----|----|
| 日  | ... | 24        | 25                       | ... | 2       | 3 | 4 | 5 | 6  | 7                  | 8 | ...    | 26    | 27 | ... | 12 |
| 曜日 | ... | 水         | 木                        | ... | 月       | 火 | 土 | 日 | 月  | 火                  | 水 | ...    | 日     | 月  | ... | 水  |
|    |     | 第一次合格者発表日 | 官庁訪問の予約受付開始<br>(予約は省庁ごと) |     | 官庁訪問開始日 |   |   |   |    | 国家公務員試験<br>第2次試験期間 |   | 官庁訪問再開 | 内々定解禁 |    |     |    |
|    |     |           |                          |     |         |   |   |   |    |                    |   |        |       |    |     |    |

# 公務員試験について～一般職相当：水産系の場合～

- 一般職試験（大卒程度試験）相当  
水産
- スケジュール（2026年）
  - 第1次公務員試験：5月31日（日）
  - 第2次公務員試験（面接）：8月上旬
  - 最終合格者発表（公務員試験）：8月下旬
  - ※本試験は最終合格者＝実質的な内々定者



## ◇試験の種目・試験の方法（配点比率は非公表）

| 試 験       | 試 験 種 目           | 内 容 ・ 出 題 分 野 ・ 出 題 数                                                                                     | 解 答 時 間    |
|-----------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 第 1 次 試 験 | 基礎能力試験<br>(多肢選択式) | 公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験<br>出題数は30題、うち知能分野24題（文章理解⑩、判断推理⑦、数的推理④、資料解釈③）、知識分野6題（自然・人文・社会に関する時事、情報⑥） | 1時間<br>50分 |
|           | 専門試験<br>(記述式)     | 農林水産省水産系技術職員として必要な専門的知識などについての筆記試験<br>水産に関する領域 1題                                                         | 1時間        |
|           | 専門試験<br>(多肢選択式)   | 農林水産省水産系技術職員として必要な専門的知識などについての筆記試験<br>出題数は40題（出題分野は別表のとおり）                                                | 3時間        |
| 第 2 次 試 験 | 人物試験              | 人柄、対人的能力などについての個別面接                                                                                       |            |

専門試験出題分野一覧表

| 専 門 試 験                 |
|-------------------------|
| 水 産 一 般                 |
| 漁 政                     |
| 漁 業 学 ・ 水 産 資 源 学       |
| 水 産 海 洋 学 ・ 水 産 環 境 保 全 |
| 水 産 生 物 学 ・ 増 養 殖 学     |
| 水 産 化 学 ・ 水 産 利 用 学     |
| 水 産 経 済 学 ・ 水 産 経 営 学   |
| 統 計 学                   |

❖ 水産庁HPにて一般職相当の過去の試験問題を掲載しています

過去問は[こちら](#)をクリック

# 相談窓口

水産庁採用担当（水産系・行政系・機電系）

- 水産庁水産経営課（直通：03-3502-8416）
- 水産庁漁政課（直通：03-3502-7987）
- 水産庁研究指導課（直通：03-3591-7410）
- 人事担当メール  
jinji\_suisan@maff.go.jp
- ホームページURL  
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/recruit/>

メール(採用相談)



HP(採用情報)



～面談希望、質問等、お気軽にどうぞ！～

# 本日のまとめ

- ① 水産庁のミッション
- ② 業務を通じた成長・働き方
- ③ キャリアパス・公務員試験

- ❖ 未来の水産業を担う重要なミッション
- ❖ 他では得られない経験や成長
- ❖ 職場環境のホワイト化を強力に推進
- ❖ 多様性に富む職員達やキャリアパス



ご清聴、ありがとうございました



私たちと一緒に日本の水産業の  
「これから」を考えてみませんか？